

5 特報部

FAX 03 (3595) 6911 Eメール tokuho@chunichi.co.jp

読めない英文字次々

GSOMIA、ASUS、iDeCo…

韓国の破棄決定でニュースがあふれる
軍事情報包括保護協定「GSOMIA」。
このアルファベットを「ジーソミア」と
きちんと読めた人がどれほどいるだろう

か。そもそも、誰が読み方を決めたの
か。周囲を見渡すと、同じようにちょっ
と読み方が分からないアルファベットの
羅列があふれている。(佐藤直子)

「GSOMIA」は「Gen
eral Security In
formation Agree
ment(ゼネラル セキユ
リティ オブ ミリタリー
インフォメーション アグリー
メント)」の頭文字を取った略
称だ。「グソミア」などと別な
読み方をしてしまう人もいたか
もしれない。なぜ「ジーソミ
ア」なのか。
二十三日朝、前夜の破棄のニ
ュースに衝撃を受けている官庁
に呼称の由来を聞いてみた。ま
ず条約内容を所管する防衛省に
尋ねた。「ここでは分からない
ので、条約締結を所管する外務
省に尋ねていただけたらと思
います」(広報課職員)と案内さ
れた。

次に外務省。報道課の職員は
「なぜ、ジーソミアと読むの
か、ですか?」と不意の質問に
戸惑った様子。「条約内容にか
かわることなら防衛省に聞いて
もらった方がいいとは思いま

ジーソミア、エイヌス、イデコ…



由来を聞くも たらい回しに

「エイヌスの道跡」
でも事故はなく、事前の周
知が功を奏した形だ。
吉永氏は「作手の事故が
念館市の青函連絡船記
による沈没と並んで印象
もいたのでは?」

けど…。外務省でも防衛省で
も、そつじつとは分からない
んじゃないでしょうか。たらい
回しになってしまいかもしま
せんけど…」と言いつつ、「一
応、担当の北東アジア第二課に
聞いてみてくださる」とさらに
次に回された。
混乱の渦中の同課。取材に対
応する事務官が終日席を離れて
いるという。職員が「きょうは
ばたばたしておりまして、質問
にお答えできません。どうかご
理解ください」と言っただけだ

た。結局この日、由来は分から
ずじまいだった。
ところで新聞各紙も二十三日
の朝刊記事では「ジーソミア」
とふりがなや読み方を入れた。
本紙は一面トップ記事の冒頭部
分にふりがな。「初出では特に
読者が読みやすいようにと入れ
ました」と本紙外報部デスクは
説明する。

実は、日本に市場参入した当
時の呼称は「アスス」だっ
た。二〇二二年十月に「エイ
ヌス」に読み方を統一。公式ソ
ング「SAY ASUS(エイ
ヌスと言え)」を制作して普
及を図った。
ほかにも、老後は年金だけで
は暮らせない「二千万円問題」
で有名になった個人型確定拠出
年金「iDeCo(イデコ)」
や、少額投資を非課税にする制
度「NISA(ニーサ)」は国
民の怒りとともに記憶に新し
い。グーグル、アマゾン、フェ
イスブック、アップルと、米
国の四つの巨大IT企業の頭文字
を取った「GAFA(ガ
ーファ)」や、国連が一五年にま
めた「持続可能な開発目標」を
表す「SDGs(エスディー
ジーズ)」もある。

ず
一
な
う
制
退
対
手

台風10号で一定効果

でも事故はなく、事前の周知が功を奏した形だ。吉永氏は「作手の事故が

念館市の青函連絡船記による沈没と並んで印象もいたのでは?